

報道各社 各位

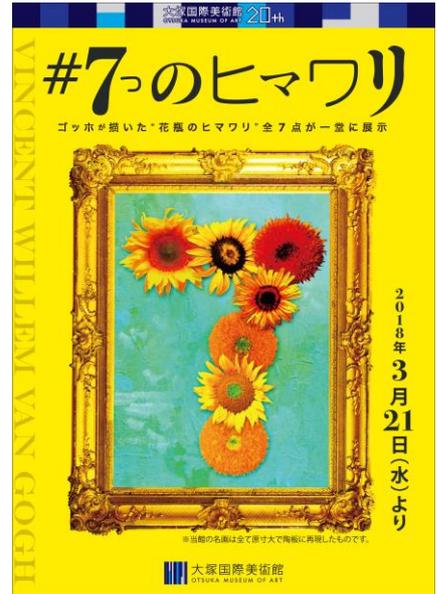
2017年11月28日
大塚国際美術館

大塚国際美術館 開館 20 周年記念事業 ゴッホ作“花瓶のヒマワリ”全7点が世界から集結 《新展示》#7つのヒマワリ -陶板で原寸大再現-

大塚国際美術館（大塚一郎館長、徳島県鳴門市）は、2018年3月21日に開館20周年を迎えます。そこで記念事業としてゴッホが描いた全7点の「ヒマワリ」を陶板で原寸大に再現し、同日より新たな展示室を設け全て展示いたします。

世界中で広く親しまれているゴッホの「ヒマワリ」は、水彩なども含めると、その数は10数点に及びます。そのうち花瓶に入った「ヒマワリ」は全部で7点あるとされ、現在、その作品はオランダ、日本、ドイツ、イギリス、アメリカ、個人蔵と世界各地に点在しています。

大塚国際美術館は、開館当初からゴッホ美術館蔵「ヒマワリ」を展示、2014年10月には追加展示として、かつて兵庫県芦屋市にありながら大空襲で焼失した幻の「ヒマワリ」を再現しました。今回、私たちの悲願であった7つの「ヒマワリ」を一堂に展示することは、世界でも類をみない画期的な試みであり、原寸大の陶板名画の迫力と魅力を存分に堪能できる展示です。陶板名画は約2,000年以上にわたりそのままの色と姿で残ることから、これからの文化財の記録保存あり方に貢献すると考えています。新たな展示にご期待ください。



■ 展示概要

展示開始 2018年3月21日（水祝）～

展示場所 大塚国際美術館
地下1階 近代ギャラリー

ゴッホ 7つの「ヒマワリ」（「展示室イメージ」の左から）



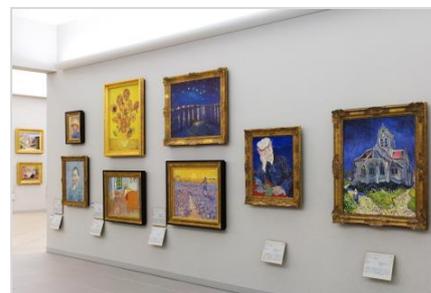
	制作年	所蔵先名	今回制作する作品	備考
1	1888年8月	個人蔵	○	
2	1888年8月	1945年兵庫県芦屋市にて焼失		※大塚国際美術館展示 作品No.1075
3	1888年8月	ノイエ・ピナコテーク、ミュンヘン、ドイツ	○	
4	1888年8月	ナショナル・ギャラリー、ロンドン、イギリス	○	
5	1888年12月-1889年1月	東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館、東京、日本	○	
6	1889年1月	フィラデルフィア美術館、フィラデルフィア、アメリカ	○	
7	1889年1月	ゴッホ美術館、アムステルダム、オランダ		※大塚国際美術館展示 作品No.706

《 参 考 》

■ フィンセント・ファン・ゴッホ (1853-1890)

1853年にオランダ南部の村、ズンデルトに牧師の息子として生まれ、聖職者を志すが挫折し、27歳のときに画家の道へ。画商の弟テオを頼ってパリへ、やがて南仏アルルへと移住。親友ゴーギャンとアトリエで共同生活を始めるが2カ月ほどで破綻。その後、オーヴェール・シュル・オワーズで自ら命を絶ち37歳で亡くなる。

10年という短い画家生活だったが「ヒマワリ」の画家として、その作品は、多くの人に愛されている。



▲地下1階 ゴッホギャラリー

■ 大塚国際美術館

大塚国際美術館は、大塚グループ創立75周年記念事業として創業の地徳島県鳴門市に1998年3月21日に開館した「陶板名画美術館」です。館内には古代壁画から世界25カ国190余の美術館が所蔵する現代絵画まで、1000点を超える西洋名画を特殊技術によって、陶板で原寸大に再現。館内にはレオナルド・ダ・ヴィンチ「モナ・リザ」をはじめ、ゴッホ「ヒマワリ」、ピカソ「ゲルニカ」など、美術書などで一度は見たことがあるような名画が一堂に会し、日本にいながら世界の美術館を体験できます。

◇ 陶板名画とは

大塚グループの一つである大塚オーミ陶業株式会社が開発した陶製の板（セラミックボード）に原画の写真を忠実に転写し、細部に至るまで幾度もレタッチを重ね、限りなくオリジナル作品に近づけることに成功した美術陶板のことです。最終仕上がりを考慮し、釉薬の決定、色分解、製版、転写などの各工程を経て、1000~1350度の高温で焼成します。そのため、退色劣化することなく約2000年以上にわたってそのままの色と姿で残り、美術書や教科書と違い原画が持つ本来の美術的価値を真に味わうことができます。



▲ミケランジェロ
「システィーナ礼拝堂天井画および壁画」

◇ これまでの追加展示

- 2003年 4月 開館5周年記念事業
レオナルド・ダ・ヴィンチ「最後の晩餐」修復後
- 2004年 4月 フェルメール「真珠の耳飾りの少女」
- 2007年 4月 開館10周年記念事業
ミケランジェロ「システィーナ礼拝堂天井画」完全再現
- 2014年10月 ゴッホの幻の「ヒマワリ」



▲ゴッホの幻の「ヒマワリ」

◇ 世界最大の旅行サイト「トリップアドバイザー®」による、これまでの受賞歴

- 2011年 行ってよかった美術館&博物館ランキング2011 第1位
- 2012年 行ってよかった日本の美術館&博物館 2012 美術館部門 第2位
- 2013年 都道府県代表観光スポット2013 徳島県代表
- 2014年 世界の人気観光スポット2014~博物館・美術館編
日本の美術館・博物館トップ10 - 第8位(美術館では第3位)
- 2015年 エクセレンス認証5年連続受賞 認定施設として「殿堂入り」
- 2016年 エクセレンス認証6年連続受賞
- 2017年 エクセレンス認証7年連続受賞

※今年で7年目となる「エクセレンス認証」は、トリップアドバイザーに掲載されている施設の中で過去1年間に優れたホスピタリティを提供していると旅行者から高く支持された世界中の宿泊施設、観光施設、レストランに授与される世界指標の認証です。日本では1,846の宿泊施設、2,599の観光施設、2,120のレストランの合計6,565の施設が本年の「エクセレンス認証」認定施設として選ばれました。



■ 大塚国際美術館 基本情報

- 【住所】 徳島県鳴門市鳴門町 鳴門公園内
- 【TEL】 088-687-3737 【FAX】 088-687-1117
- 【URL】 <http://www.o-museum.or.jp>
- 【開館時間】 9時30分から17時(入館券の販売は16時まで)
- 【休館日】 月曜日(祝日の場合は翌日) / 1月は正月明けに連続休館あり / その他、特別休館あり
 - ※2018年1月15日(月)~1月19日(金) 連続休館
 - ※2018年2月13日(火)~2月19日(月) 連続休館
 - ※2018年3月20日(火) 臨時休館
- *8月無休
- 【入館料】 一般 3,240円 / 大学生 2,160円 / 小中高生 540円
*20人以上の団体は10%割引

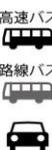
【アクセス】

関東から



羽田空港~徳島阿波おどり空港 約1時間
→路線バス「徳島空港」バス停より 約30分
東京・品川・新横浜より新神戸 約3時間
新神戸にて高速バス乗り換え

関西から



高速バス 大阪/神戸など~「高速鳴門」 2時間10分/1時間35分
→路線バス「小鳴門橋」バス停より 約15分
路線バス JR徳島駅より約70分、JR鳴門駅より約15分
※いずれも「大塚国際美術館前」下車
神戸淡路鳴門自動車道 鳴門北ICから車で約3分
専用駐車場より無料シャトルバス運行

■周辺地図



《お問い合わせ先》大塚国際美術館 学芸部広報担当 土橋/富澤/山側
Tel: 088-687-3737 Fax: 088-687-1117 Mail: info@o-museum.or.jp